

62

外来待ち時間（平均）

自院

指標の意義

外来待ち時間が発生する要因として①診療科によって曜日や時間帯による患者数の偏りがあること②診療にかかる時間の予期せぬ変動③体調不良や救急の対応などがあげられます。外来待ち時間が長くなることは外来通院中の患者・家族にとって大きな負担になります。待ち時間の持続的な評価、診療科ごとの分析を継続的にを行い、待ち時間短縮のための改善に取り組むことが外来診療における患者満足度の向上につながると考えます。

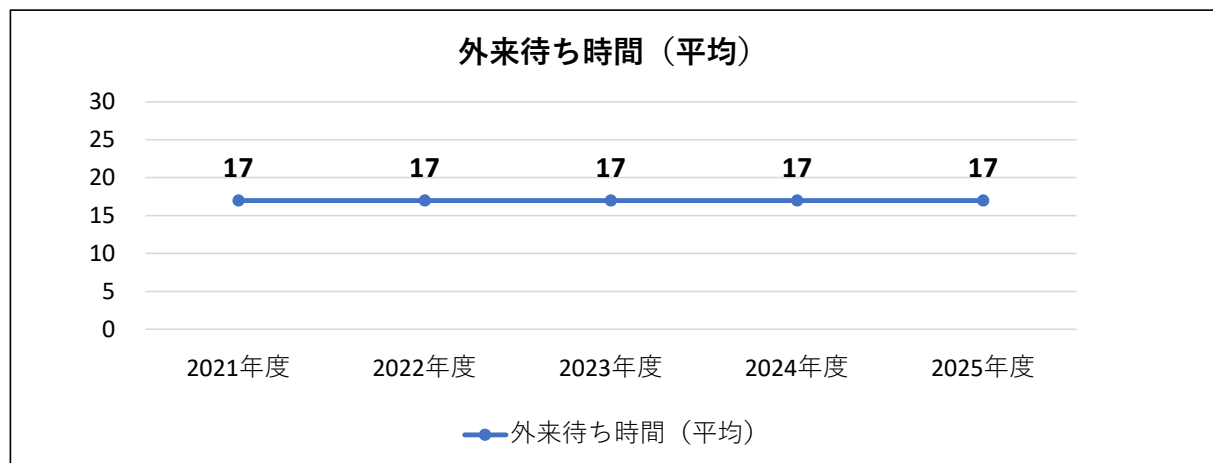
定義

分子 診察呼込み時刻－予約枠開始時刻（予約枠開始時刻より早く来院の場合）

分母 診察呼込み時刻－外来ブース受付時刻（予約枠開始時刻より遅く来院の場合）

当院の実績

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
外来待ち時間（平均）	17	17	17	17	17	（分）



指標実績の分析・評価

年間平均待ち時間は最短の診療科で8分、最長の診療科が33分、全平均が17分と例年と同様でした。診察に採血結果を要し受診患者数が多い内科系診療科では19分～21分と平均を超えており、外科系診療科は平均より短い傾向でした。外来では待ち時間が長くなりそうな場合、看護師から待ち時間が発生していることをお伝えし、ご理解いただけるよう努めています。

63

くすり待ち時間（中央値）

自院

指標の意義

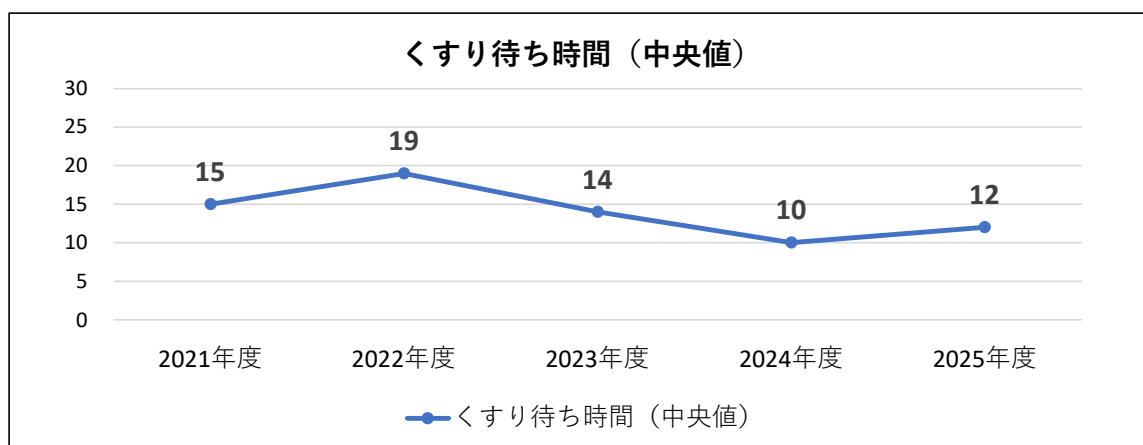
外来患者さんが会計窓口での支払いからお薬の交付を受けるまでの所要時間の平均値を示します。お薬の待ち時間は外来患者さんにとって苦痛になりかねない時間ですので、その推移を毎月見えています。

定義

くすり待ち時間（中央値）＝会計終了時刻－お薬交付時刻

当院の実績

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
くすり待ち時間（中央値）	15	19	14	10	12	（分）



指標実績の分析・評価

薬剤師や調剤補助員の増員により調剤業務にかかわる人員を増やすことができたことから、くすりの待ち時間は一定の改善の傾向を示すことができています。一方で、誤調剤による過誤が発生していることから、処方薬と調剤した薬についてバーコードによる認証を実施できる体制を整え、過誤の発生を防いでいきます。

64

患者サロン：勉強会参加者数

自院

指標の意義

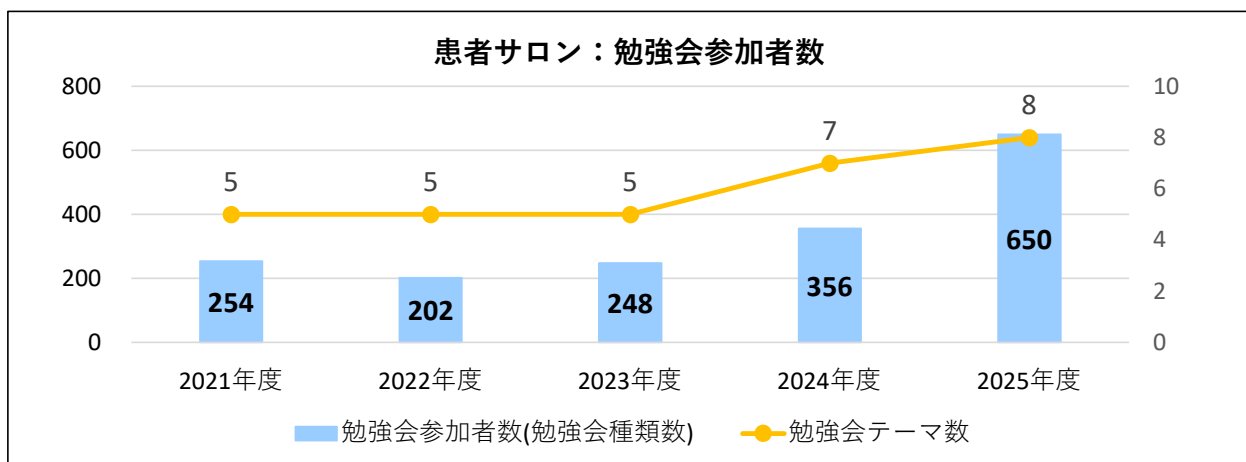
患者サロンは、病院における患者・家族支援の設備の一つです。くつろぎと対話の場の提供、病気や暮らしに関する勉強をする機会の提供を行っています。

定義

患者サロンで開催した勉強会参加者数（勉強会開催数）

当院の実績

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
勉強会テーマ数	5	5	5	7	8	(数)
勉強会参加者数(勉強会種類数)	254	202	248	356	650	(日人)



指標実績の分析・評価

2024年度の学習会参加者数は前年度と比べ約1.5倍増加しています。要因として2024年度に『乳房再建』の学習会を再開したこと、新規テーマで「がんと運動」の学習会を開始したことが考えられます。特に「がんと運動」は毎回の参加者数が約20名ありました。近年、がん治療において「運動」の必要性が説かれ、運動ががん治療に良い影響を与えるなどの研究結果もでており患者さんにとっても興味深い内容であったと推察しています。

65

患者図書館利用者数

自院

指標の意義

患者図書館「あすなろ図書館」は、静岡がんセンターの1階にあり、患者さん以外の一般の方も利用できる図書館です。「本を楽しみたい」「病気のことを知りたい」「インターネットで情報を得たい」「くつろげる場が欲しい」といった患者さんの希望に沿う場所です。

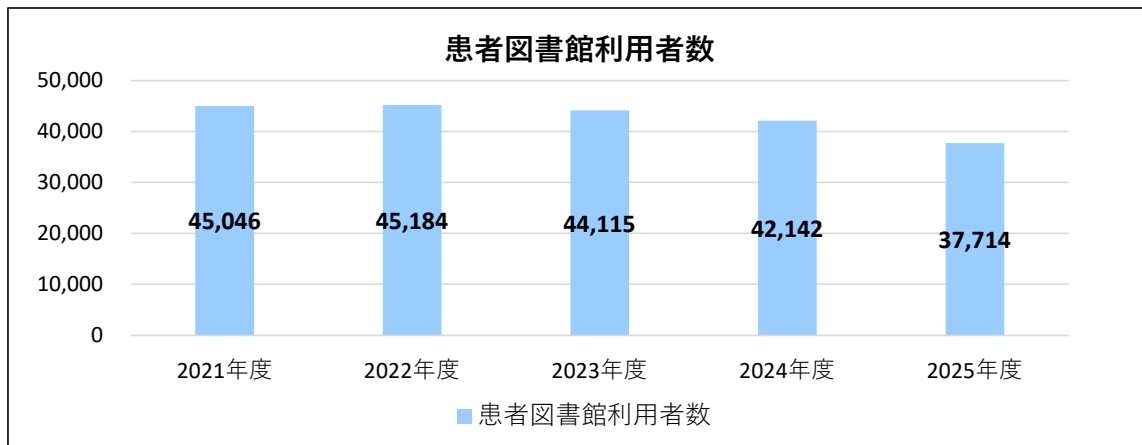
定義

1年間の患者図書館利用者数（本・ビデオの貸出、インターネットの利用、ビデオ視聴）

当院の実績

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
患者図書館利用者数	45,046	45,184	44,115	42,142	37,714	（人）

※年度により「栄養補助食品の情報提供」の参加者数が入っていたりいなかったりしていたため2025年度中間評価で勉強会参加者数について再集計し修正した。



指標実績の分析・評価

2024年度の図書館利用者数は前年度より若干（0.5％）減少しています。図書館の開館日が平日のみであることやコロナ渦以降の入館制限の緩和について周知されていないことで一般利用者が入館しづらい状況です。また、インターネットやスマートフォンでの電子書籍利用などの普及が図書館の利用者数減少に繋がっている可能性も考えられます。今後は、新規図書やお薦めの図書についてHPやInstagramでの紹介など図書の広報を検討していきます。